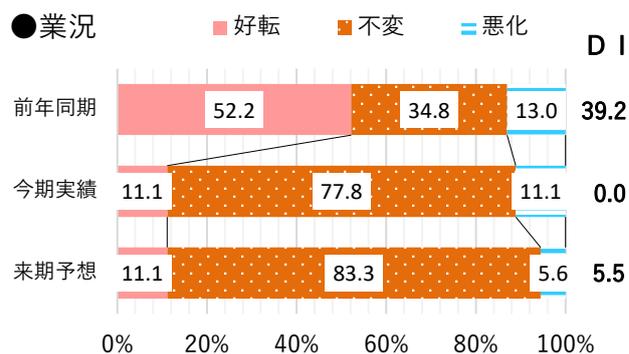


サービス業

業況、売上、採算

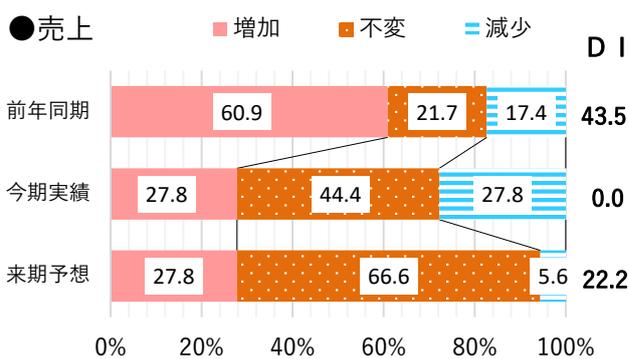
今期（2025.1～3）の業況判断DIは0.0で、前年同期（2024.1～3）と比べ39.2ポイントと大幅に低下しました。

来期（2025.1～3）の業況DIは5.5ポイント上昇すると予想しています。



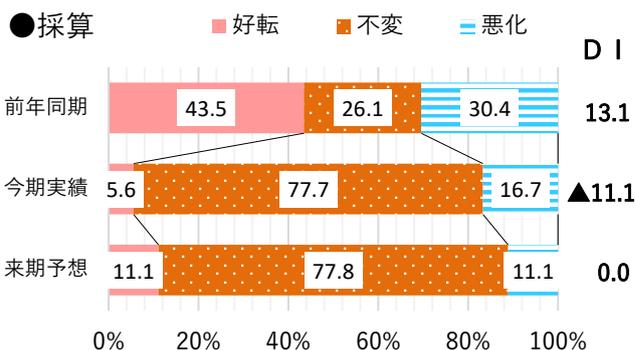
今期の売上高DIは0.0で、前年同期と比べ43.5ポイントと大幅に低下しました。

来期の売上DIは22.2ポイント上昇すると予想しています。

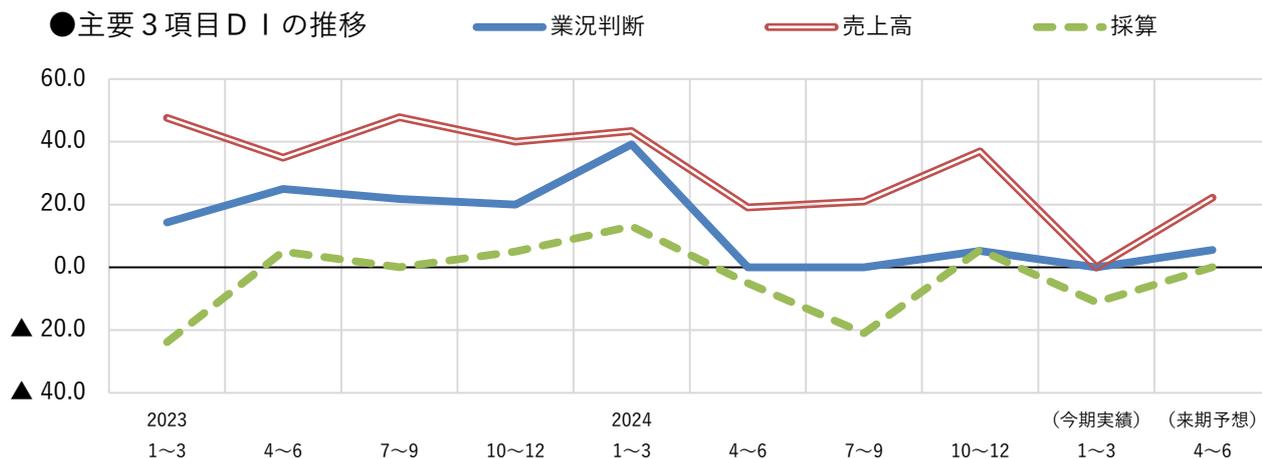


今期の採算DIは▲11.1で、前年同期と比べ24.2ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期の採算DIは11.1ポイント上昇すると予想しています。



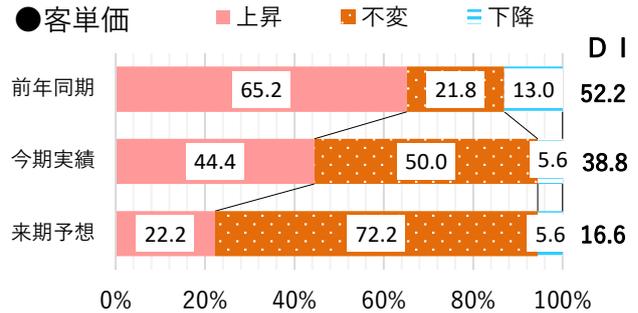
●主要3項目DIの推移



客単価、利用客数、仕入単価

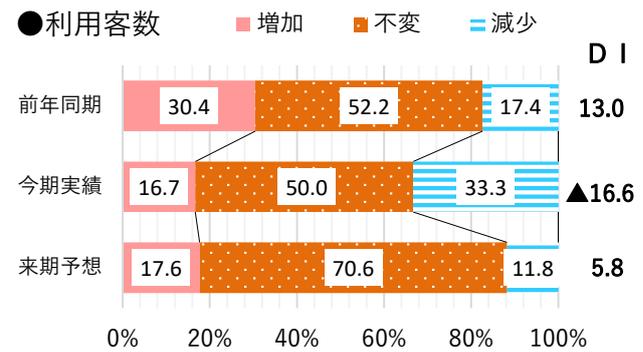
今期の客単価DIは38.8で、前年同期と比べ13.4ポイント低下しました。

来期の客単価DIは22.2ポイント低下すると予想しています。



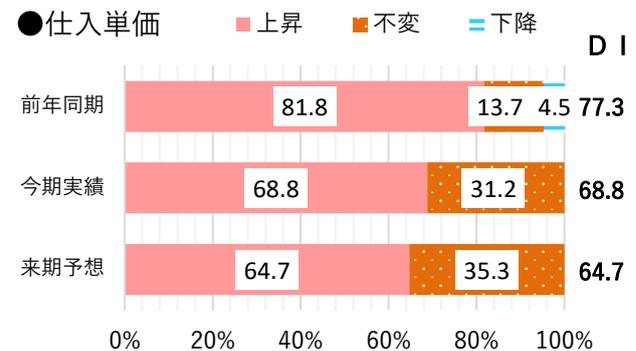
今期の利用客数DIは▲16.6で、前年同期と比べ29.6ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期の利用客数DIは22.4ポイント上昇し、プラスに転じると予想しています。



今期の仕入単価DIは68.8で、前年同期と比べ8.5ポイント低下しました。

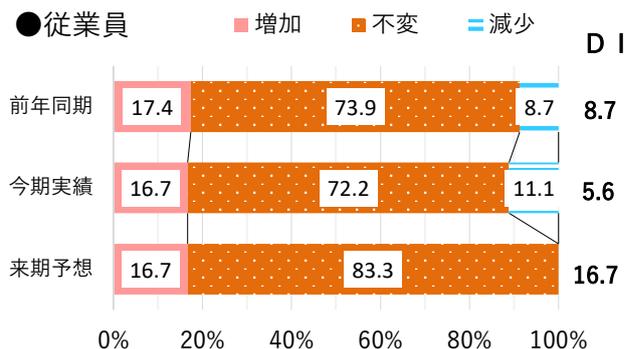
来期の仕入単価DIは4.1ポイント低下すると予想しています。



従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは5.6で、前年同期と比べ3.1ポイント低下しました。

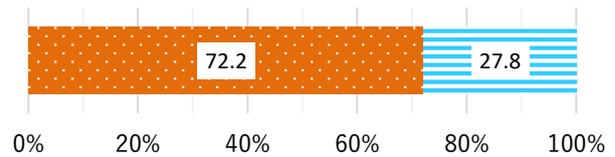
来期の従業員DIは11.1ポイント上昇すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は72.2%、不足していると回答した企業の割合は27.8%でした。

従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、55.6%を占めました。

●今期の雇用状況 ■ 過剰 ■ 適正 ■ 不足



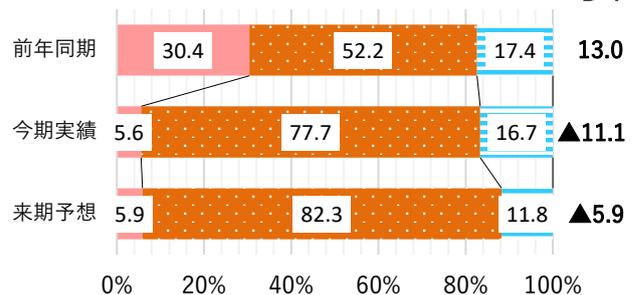
今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	3
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	10
	不足	3
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	2

資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは▲11.1で、前年同期と比べ24.1ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期の資金繰りDIは5.2ポイント上昇しますが、マイナス水準が継続すると予想しています。

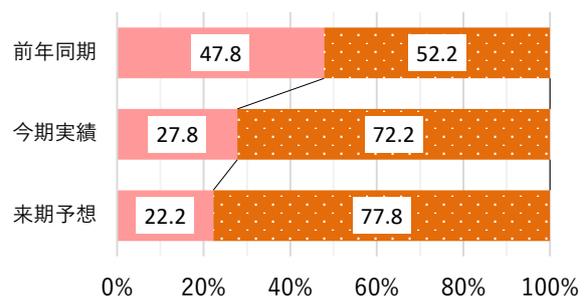
●資金繰り ■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化



今期の設備投資は27.8%が実施と回答し、前年同期と比べ20.0%減少しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」、「OA機器」（同位）、3位が「土地」、「建物」、「サービス設備」、「付帯設備」（同位）の順です。

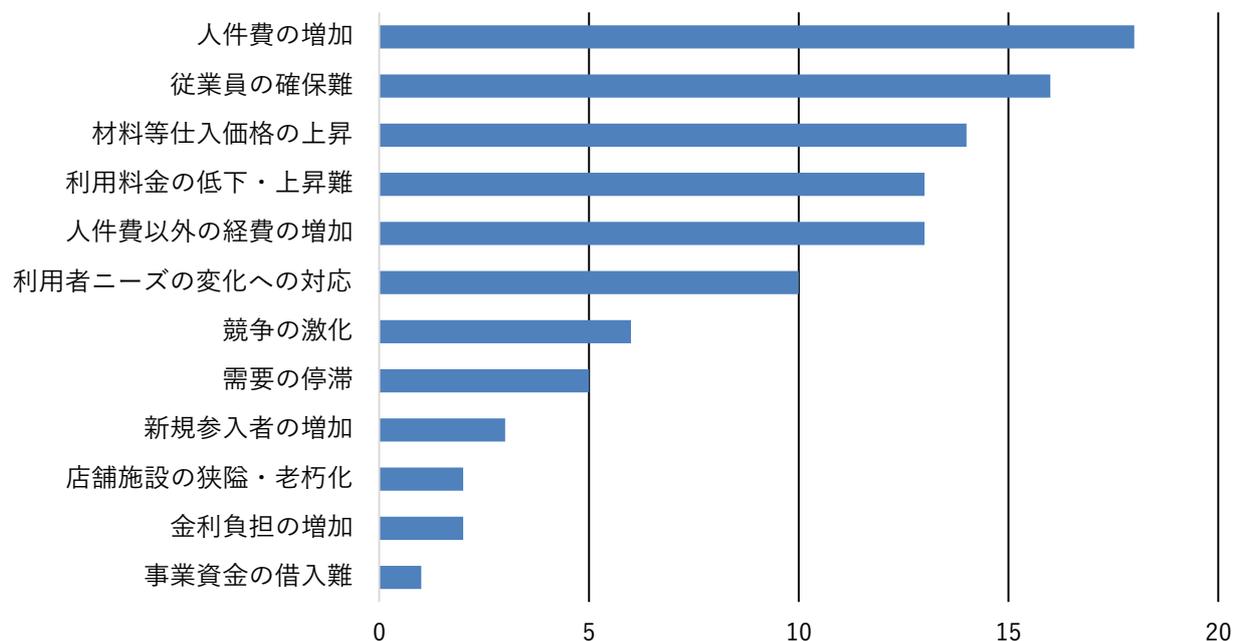
来期は22.2%が設備投資を計画していると回答しています。

●設備投資 ■ 実施 ■ 未実施



経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「人件費の増加」、2位が「従業員の確保難」、3位が「材料等仕入価格の上昇」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 相変わらず仕入単価、経費が上昇傾向。地元客がこの時期少なく、外国人が多い傾向。（飲食店）
- 最低賃金や資材費の上昇に合わせ値上をしているので売上は上がっているが、利益上昇に至らず。
（ビルメンテナンス）
- 人材の確保が難しく、派遣・紹介会社に頼らざるを得なくなってきている。（ビルメンテナンス）
- 物価高騰で仕入価格は値上り、売上高は減少している。（写真業）
- 12月が繁忙期だったので今期は売上、利用客数が減少した。仕入価格も仕入れする度に上がっている。
（美容業）
- 前期と大きな変化はないが、近隣町村が活況に感じる。（不動産代理・仲介業）

[来期の業況について]

- 来客数は減少するが値上げしたため、売上は維持できると思われる。これ以上値上げすると市内のお客様が離れる心配がある。（飲食店）
- 相変わらず仕入単価、経費が上昇傾向。地元客がこの時期少なく、外国人が多い傾向。（飲食店）
- 来期も最低賃金や資材費の上昇に合わせ値上をするが、利益率の好転するには至らない。
（ビルメンテナンス）
- 多少の余剰人員を確保しておくか、パートの延長（フルタイム）を検討していく。（ビルメンテナンス）
- 客数、客単価ともに減少し、中々売上高の上昇は見込めない。（写真業）
- 1年の中でもコンスタントに来客数が安定している時期なので売上、客数共に増加すると思う。仕入価格は上がり、人材確保は今を維持していく予定。（美容業）
- 市内のお客様が減少しているように感じる。（不動産代理・仲介業）